



OnTimeクライアント  
インストール・アップグレード  
マニュアル  
(Notes Standard版用)

## OnTime クライアント インストール・アップグレード マニュアル 目次

---

### 5. クライアントインストール

#### 1. インストールが必要なクライアントについて

OnTime ノーツクライアントはEclipseで動作します。

2014/11/18

#### 2. ノーツクライアント・サイドバークライアント

マイウィジェットが有効か確認します。

2014/10/14

ファイルから直接ドラッグしてインストール

2014/10/14

ウィジェットカタログを作成する

2014/10/14

ウィジェットカタログにインストーラを登録した後にインストール

2014/10/14

ウィジェットカタログから自動インストールと自動更新

2014/10/14

ウィジェットカタログから自動更新をポリシー配信

2015/03/19

#### 3. アップデートサイト

アップデートサイトを社内に作成する。

2015/04/07

### 6. クライアントアップデート

#### 1. アップデート作業

クライアントのアップデートについて

2014/11/19

#### 2. ノーツクライアント・サイドバークライアント

ウィジェットカタログのウィジェット内のextension.xmlファイルの入れ替え

2015/04/06

#### 3. アップデートサイト

アップデートサイト内のOnTimeフューチャーを更新する。

2015/04/07



## 5.クライアントインストール

## OnTimeノートクライアントはEclipseで動作します。

OnTimeノートクライアントとOnTimeサイドバークライアントはノートが動作しているEclipse環境で動作します。ノートStandard版をご利用にならない場合はこの章は必要ございません。

今回はノートクライアントとサイドバークライアントのインストールを実行します。

また聞き慣れない言葉も出てきますので簡単に整理しておきます。

下記項目は全てIBM Notes/Dominoに標準実装されている機能です。詳細はIBM社サイト等でご確認くださいませ。

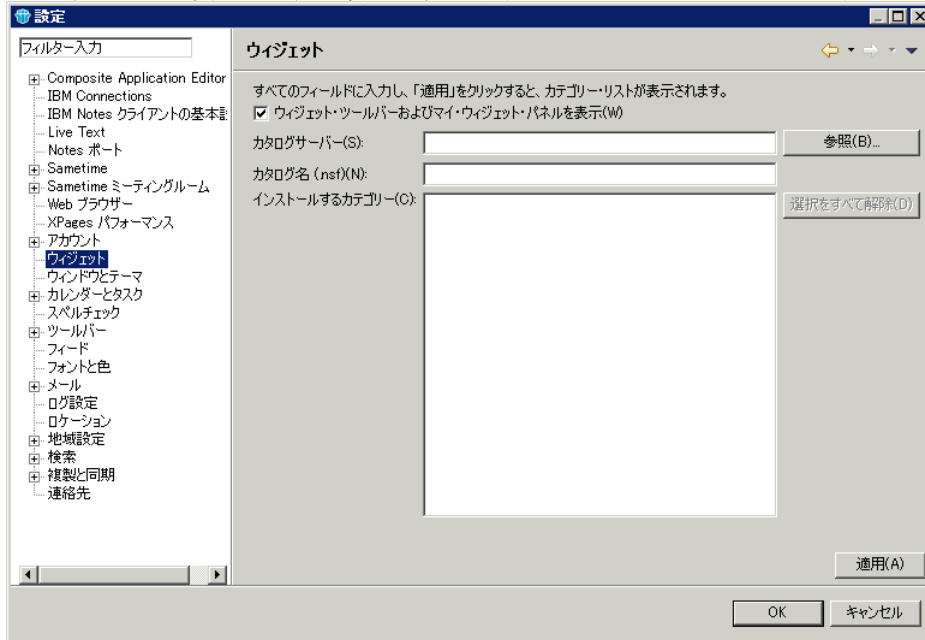
マイウィジェット	NotesStandard版でアドオンソフトウェアやガジェット、ウィジェット等をインストールする際に必要とするパネルです。OnTimeもインストールする際に使用します。
ウィジェットカタログ	NotesStandard版で利用できるウィジェット等を組織でカタログ化しておく際に利用するデータベースです。OnTimeのインストーラーもカタログに登録して利用できます。
ポリシー	ドミノディレクトリが実装しているポリシーによるクライアント設定の制御機能です。OnTimeもウィジェットカタログが持っている自動デプロイ機能のポリシー配信を利用できます。
アップデートサイト	そもそもエクリップスの機能拡張機能用のダウンロードサイトです。ノートもStandard版になってドミノサーバーがそのダウンロードサイトを兼用出来るようになっています。OnTimeクライアントも自社内にダウンロードサイトを作成して自動インストールできます。

次ページより上記機能を利用しながらインストールをステップバイステップで行ってみます。

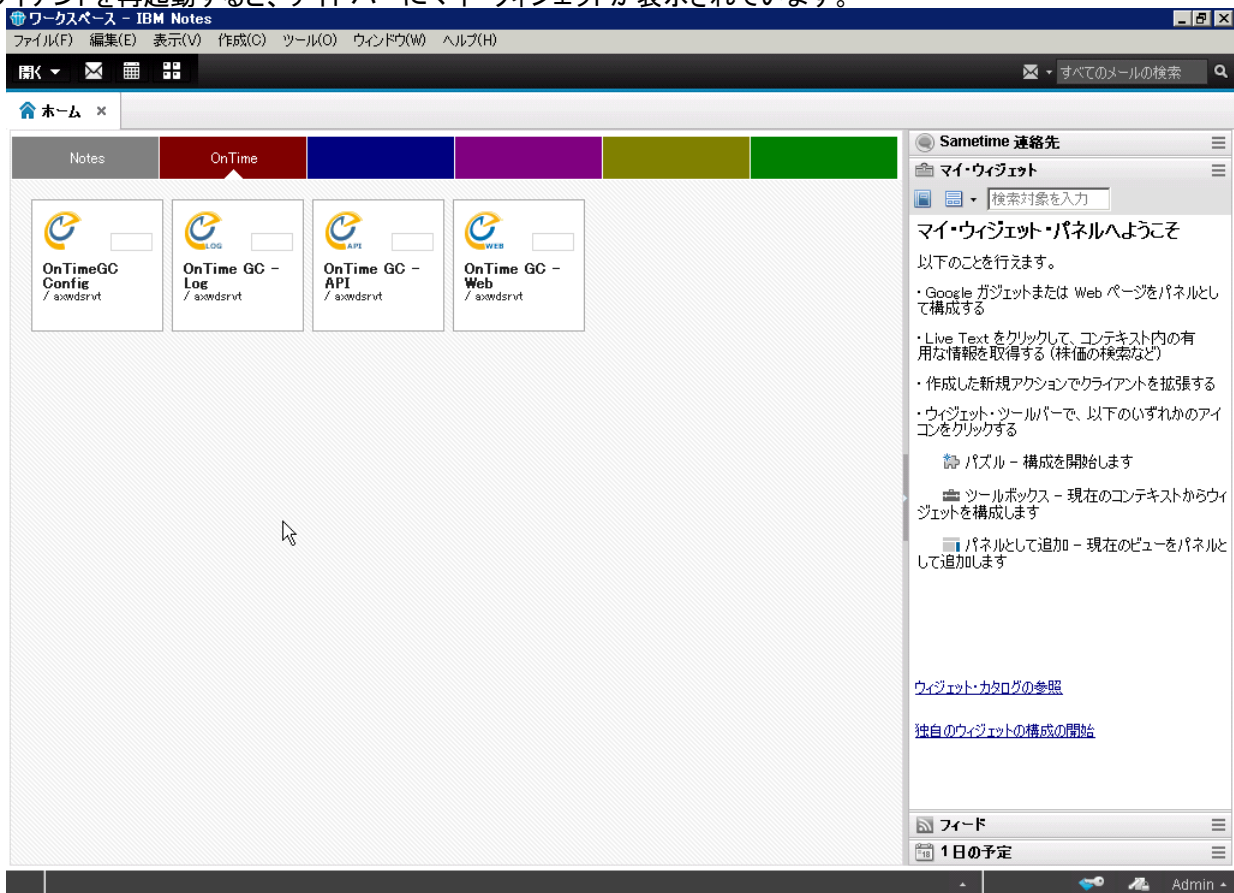
## マイウィジェットが有効か確認します。

マイウィジェットを表示する/表示しないはファイル/プリファレンス(設定)で設定します。

下図のように画面が開いたら、上部分にある「ウィジェット・ツールバーおよびウィジェット・パネルを表示」をチェック。



クライアントを再起動すると、サイドバーにマイ・ウィジェットが表示されています。



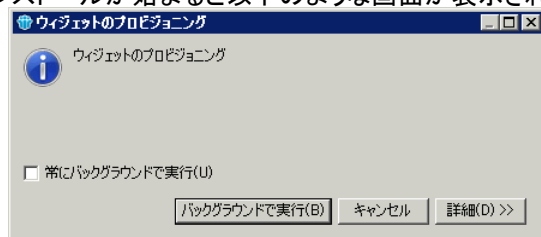
## ファイルから直接ドラッグしてインストール

組織でウィジェットカタログを管理されていない場合は、ウィジェットはそのままファイルとしてドラッグ出来ます。

OnTimeのインストーラーもそのままファイルをマイ・ウィジェットにドラッグしてインストールします。

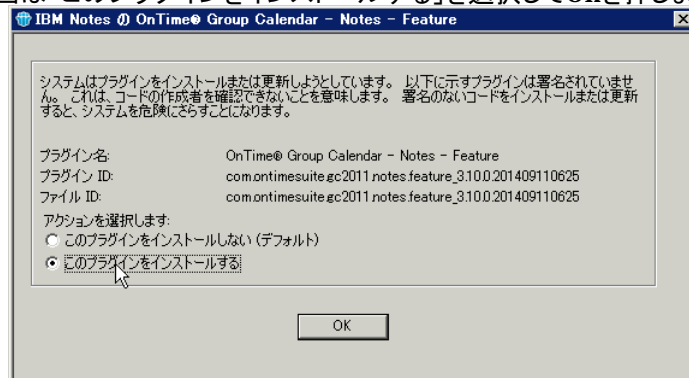


インストールが始まると以下のような画面が表示されます。

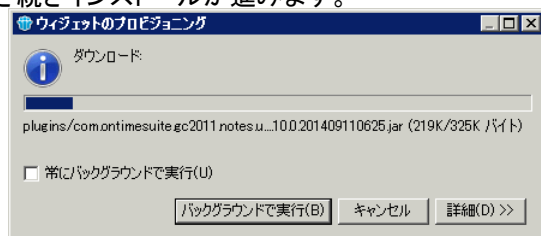


インストールが順調に進むと以下のような画面が表示されます。もし表示されずに何かしらのエラーメッセージが表示されるなら、組織でクライアントPCへのインストールが制限されているか、そもそも権限を与えられていないか、ダウンロード先である外部へのインターネット接続が制限されている可能性がございます。システム管理者にご確認ください。

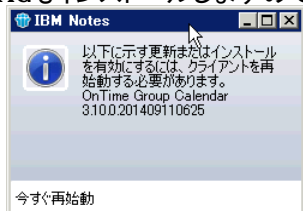
今回は「このプラグインをインストールする」を選択してOKを押します。



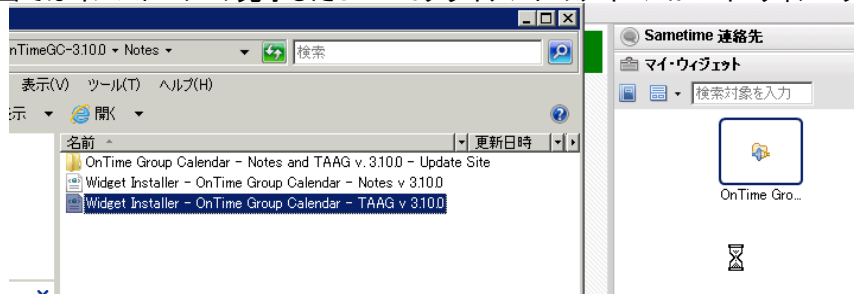
引き続きインストールが進みます。



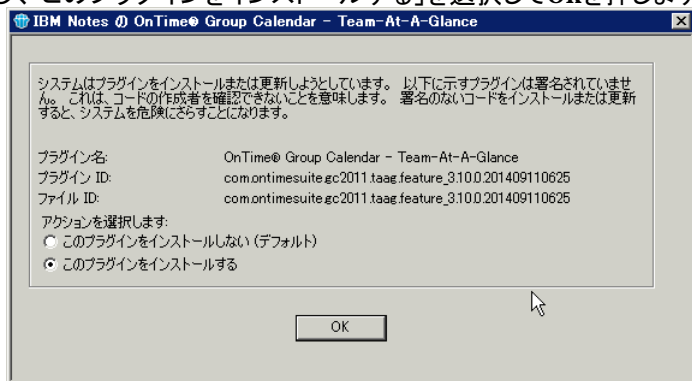
インストールが完了すると、画面右下に再起動を即すポップアップが出てきます。TAAGもインストールしますので今回は無視します。



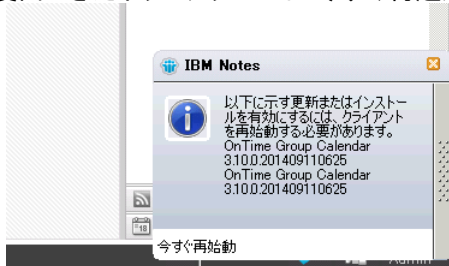
引き続き、TAAG用インストーラーもドラッグします。画面ではインストールの完了したOnTimeクライアントのアイコンがマイ・ウィジェットに確認できます。



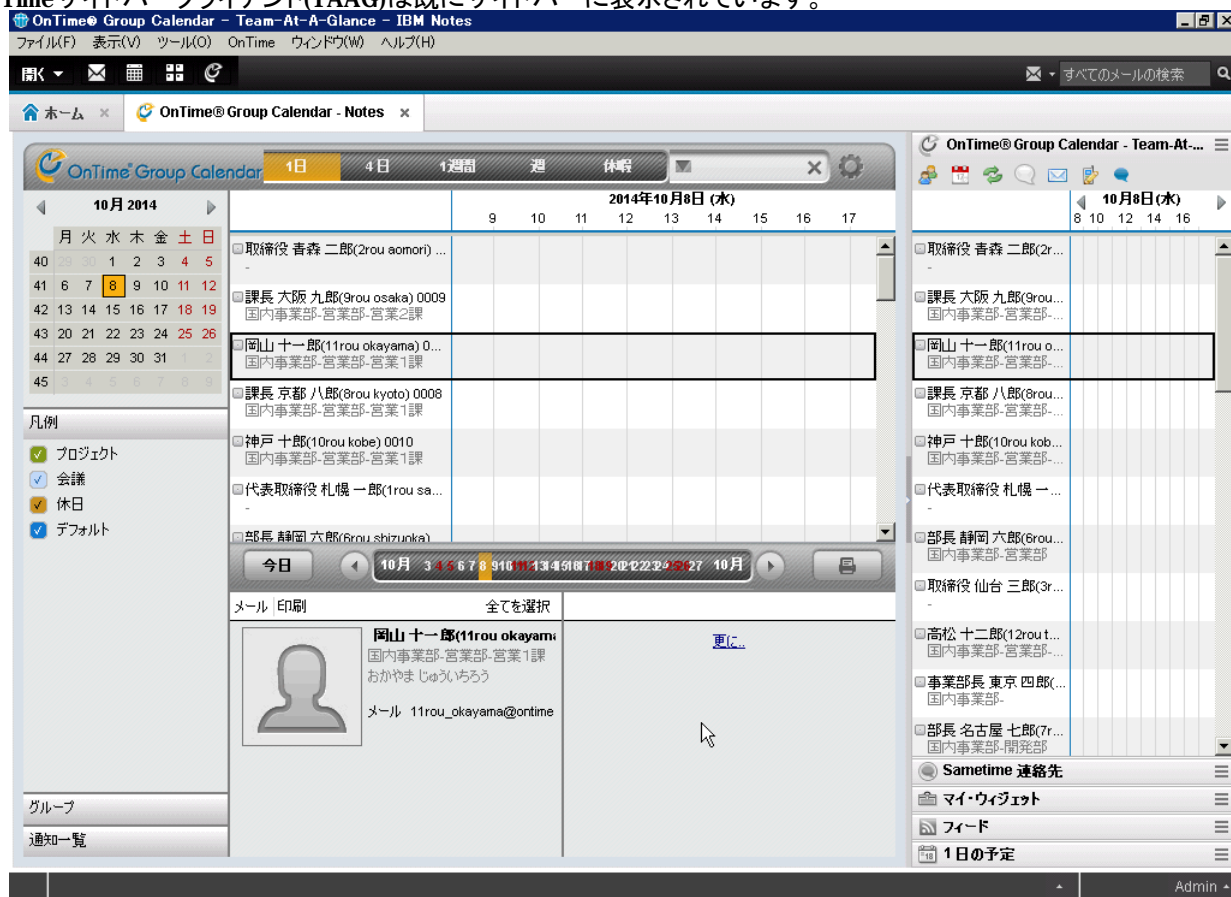
同じく「このプラグインをインストールする」を選択してOKを押します。



再度出てきたポップアップでは「今すぐ再起動」をクリックします。



再起動後、OnTimeクライアントは「アプリケーション・オープン・リスト」か「ショートカット」から起動します。  
OnTimeサイドバークライアント(TAAG)は既にサイドバーに表示されています。



もしエラーで正常起動できない場合は、ConfigDBでFullSyncが完了しているか確認してください。  
また起動しようとしているユーザーがOnTimeの同期対象に含まれているか確認してください。



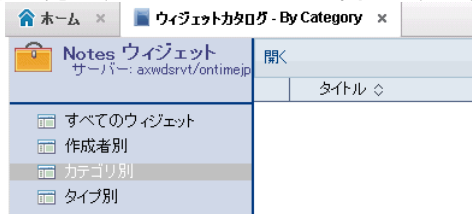
## ウィジェットカタログを作成する

OnTime インストーラーウィジェットを一般ユーザーにファイルからドラッグさせたくない場合はウィジェットカタログが便利です。後ほどご紹介するデプロイを自動化することも可能です。

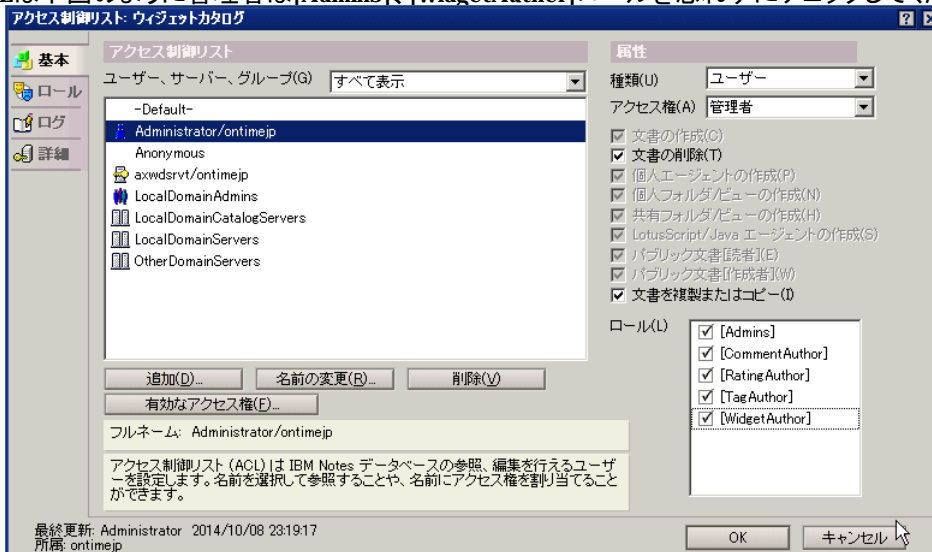
ウィジェットカタログを作成します。ワークスペースから下図のように新規アプリケーションで作成します。



作成が完了するとデータベースが開きますが、ACLでロールが指定されていないので一旦閉じて設定します。



ACLは下図のように管理者は[Admins]、[WidgetAuthor]ロールを忘れずにチェックしてください。



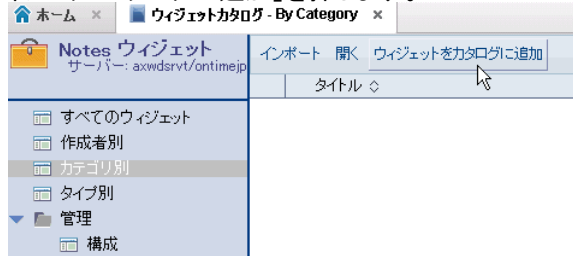
以上でウィジェットカタログの作成は完了です。

## 5.クライアントインストール - 2.ノートクライアント・サイドバークライアント

### ウィジェットカタログにインストーラを登録した後にインストール

作成したウィジェットカタログのACLにロールも設定したので、再度開くと「ウィジェットカタログに追加」があります。OnTimeインストールウィジェットを登録してウィジェットカタログからドラッグしてインストールできるようにします。

「ウィジェットカタログに追加」を押します。



タイトル、カテゴリ、説明を適宜記述します。カテゴリは次ページの為に「OnTime」とします。

保存して閉じる

**便利なウィジェットを IBM Notes に追加**

タイトル:

送信者: Administrator

カテゴリ: 「OnTime」

プラットフォーム: 「IBM Lotus Notes 8.5, IBM Lotus Notes 8.5.1, IBM Lotus Notes 8.5.2, IBM Lotus Notes 8.5.3, IBM Lotus Notes 9.0, IBM Lotus Notes 9.0.1」

コンテンツタイプ  コンポーネント

認識機能  ブラウザとフィーチャ

**説明**

このウィジェットの簡単な説明を入力してください。ここで入力した説明は各種ビューなどで表示されるため、1

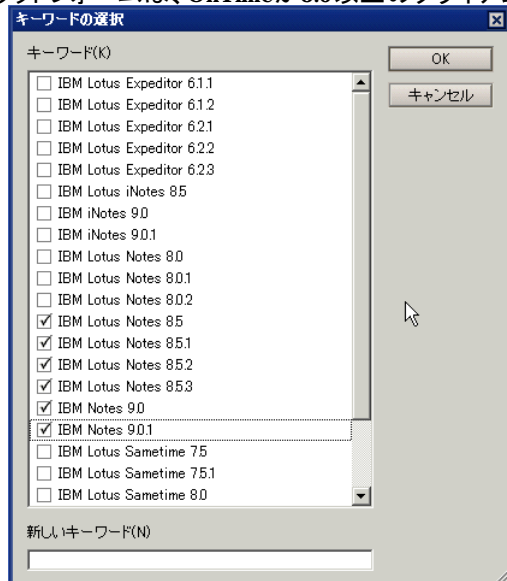
OnTime Client

**添付ファイル**

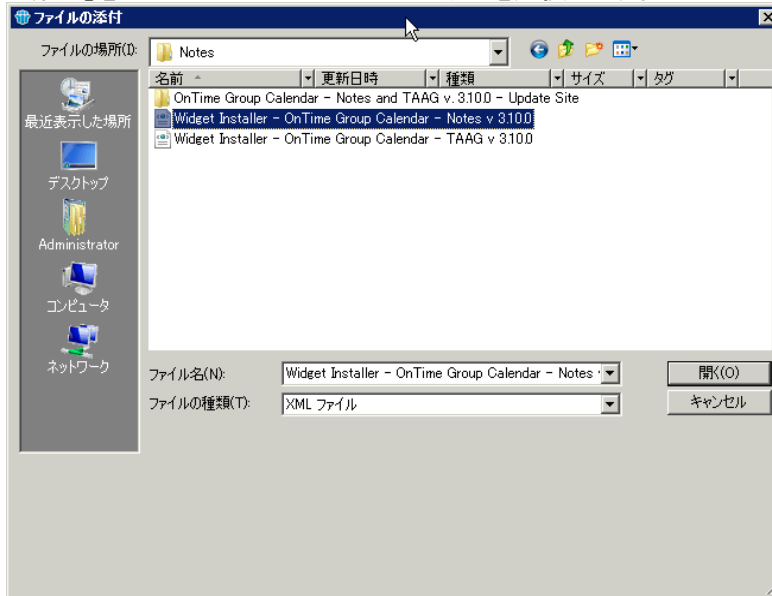
[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルファイルシステムから選択します。現在添付されてい

添付...

プラットフォームは、OnTimeが8.5以上のクライアントだけをサポートしているので該当だけチェック。



次に「添付」をクリックしてOnTimeインストーラーを選択します。



添付したら下図のような表示になります。

▼ 添付ファイル

[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルのファイルシステムから選択します。現在添付されているファイルを削除するには、[閉]

C:\LotusMedia\OnTimeMedia\OnTimeGC-3.10.0\Notes\Widget Installer - OnTime Group Calendar - Notes v 3.10.0.xml 削除...

ウィジェットのセキュリティをレビューするには [レビュー] ボタンをクリックします

レビュー

次に「レビュー」をクリックした後、文書を保存します。

▼ 添付ファイル

[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルのファイルシステムから選択します。現在添付されているファイルを削除するには、[閉]

C:\LotusMedia\OnTimeMedia\OnTimeGC-3.10.0\Notes\Widget Installer - OnTime Group Calendar - Notes v 3.10.0.xml 削除...

▼ セキュリティ

このウィジェットはレビュー対象のセキュリティデータがありません。

T

同じく、サイドバークライアント(TAAG)用のウィジェットも作成します。



両方とも作成できれば以下のような画面になります。  
そのままビューから該当文書をマイ・ウィジェットにドラッグしてインストールを始めます。

The screenshot shows the OnTime application interface. On the left is a sidebar for 'Notes ウィジェット' (Notes Widgets) with a server address 'axwdsrvt/ontimeip'. The main area displays a table of widgets under the 'OnTime' category. The table has columns for 'タイトル' (Title), '承認状態' (Approval Status), and '作成日' (Creation Date). Two widgets are listed: 'OnTime Client' and 'OnTime TAAG', both with a status of '承認不要' (No approval required) and a creation date of '2014/10/08'. On the right, there is a 'Sametime 連絡先' (Sametime Contact) panel with a search box and instructions for using widgets.

タイトル	承認状態	作成日
OnTime Client	承認不要	2014/10/08
OnTime TAAG	承認不要	2014/10/08

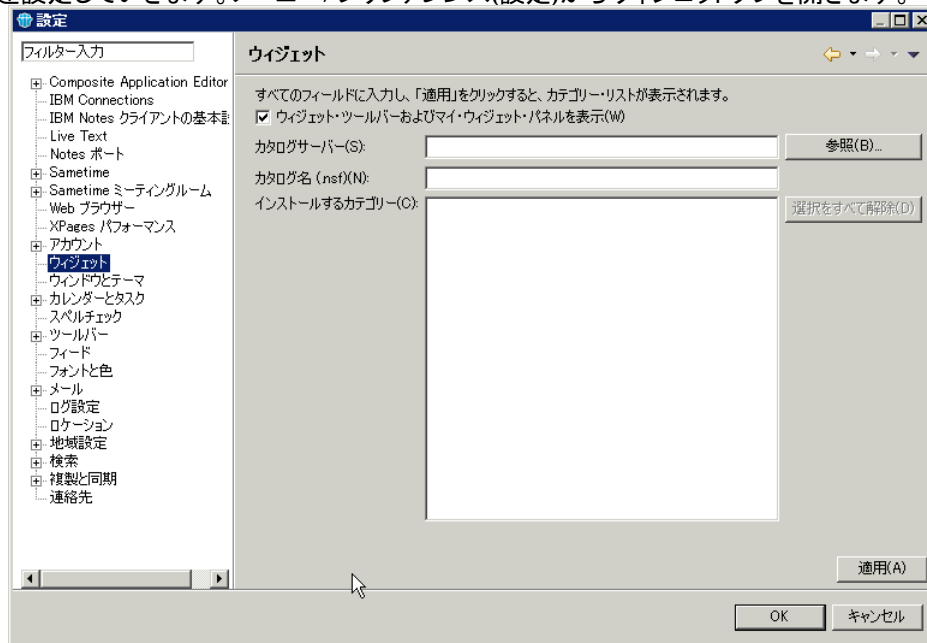
以降はファイルからのドラッグと同じ操作となります。

## ウィジェットカタログから自動インストールと自動更新

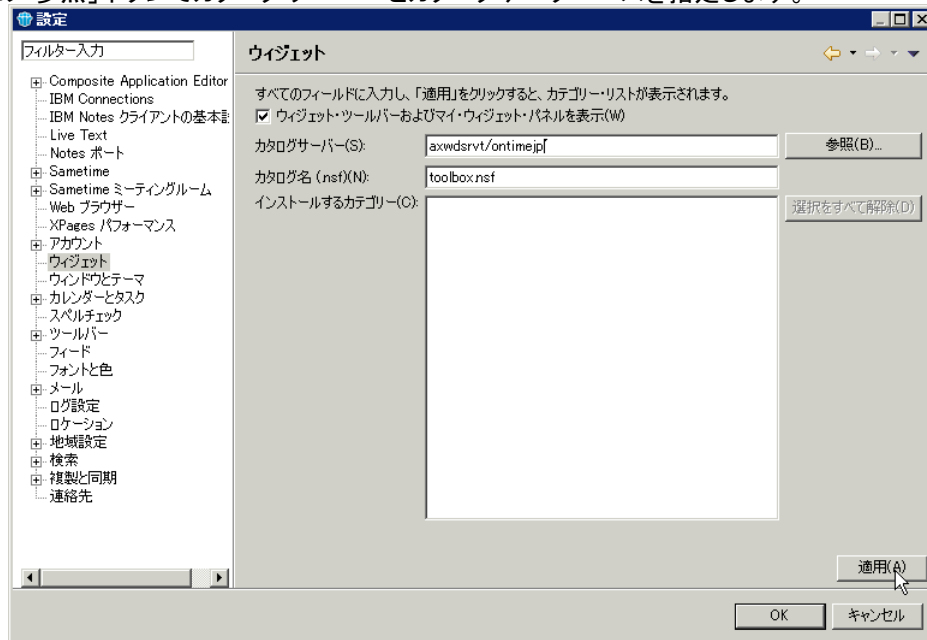
プリファレンス(設定)でウィジェットカタログとインストールするカテゴリを設定しておけば以下の2つが実現します。

- ・カテゴリに新しいウィジェットが追加されれば自動でインストールしてくれます。
- ・カテゴリの添付したウィジェットがバージョンアップしていれば自動的にバージョンアップしてくれます。

早速設定していきます。メニュー/プリファレンス(設定)からウィジェットタブを開きます。

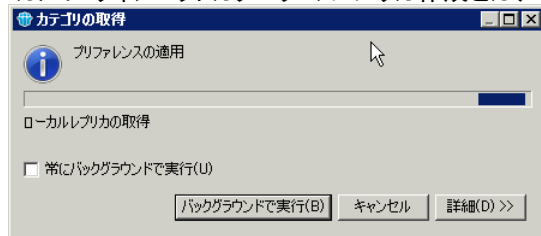


右の「参照」ボタンでカタログサーバーとカタログデータベースを指定します。

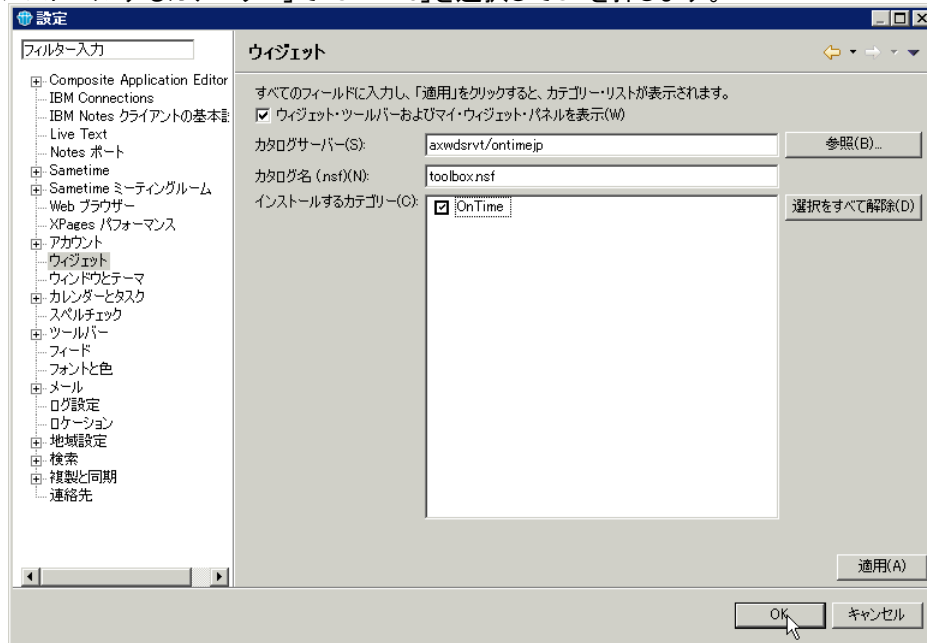


右下の「適用」ボタンを押します。

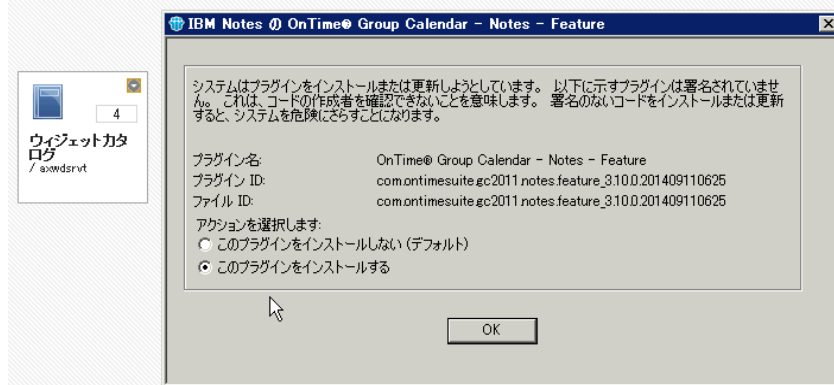
ローカルにウィジェットカタログのレプリカ作成とカテゴリを読み込みます。



「インストールするカテゴリ」で「OnTime」を選択してOKを押します。



ウィジェットカタログの設定に基づき、しばらくするとインストーラーが自動で起動します。

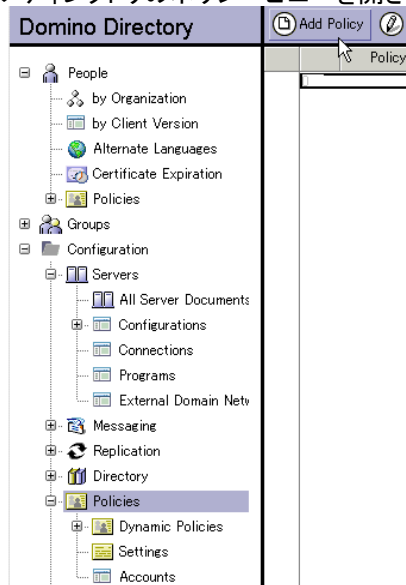


## ウィジェットカタログから自動更新をポリシー配信

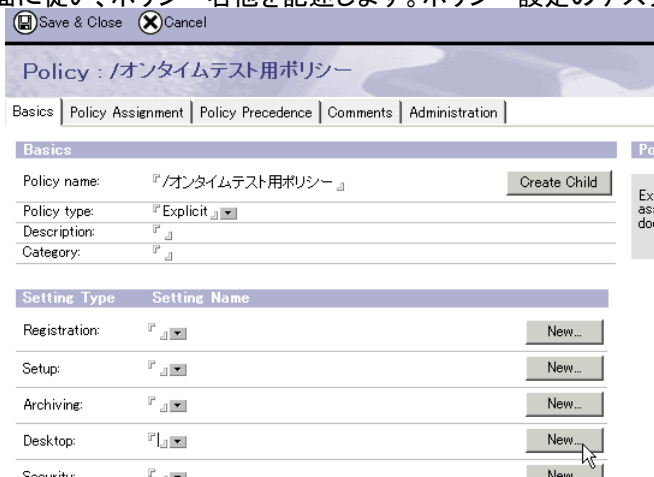
クライアントでウィジェットカタログと自動でインストールするカテゴリを設定すれば、クライアントへのデプロイが自動化できることをご理解頂けたでしょうか。次にその設定をドミノディレクトリのポリシーを設定して、上記設定を配信をする方法をご紹介します。

なお、ポリシー設定はご利用の環境によって運用が全く違ってきます。事前に該当する管理者と十分に相談してください。

ドミノディレクトリのポリシービューを開きます。「Add Policy」をクリックします。



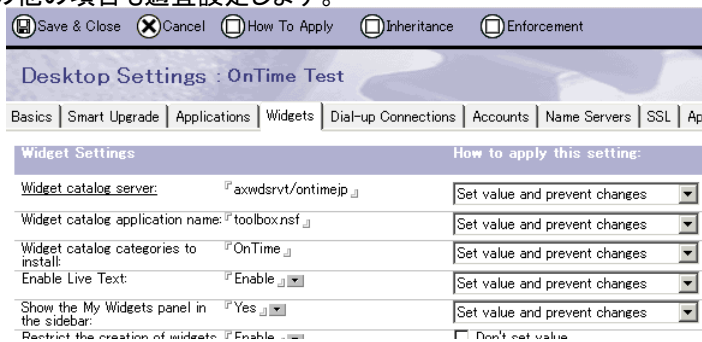
画面に従い、ポリシー名他を記述します。ポリシー設定のデスクトップから「新規」をクリックします。



ポリシー設定名は半角英数で指定してください。



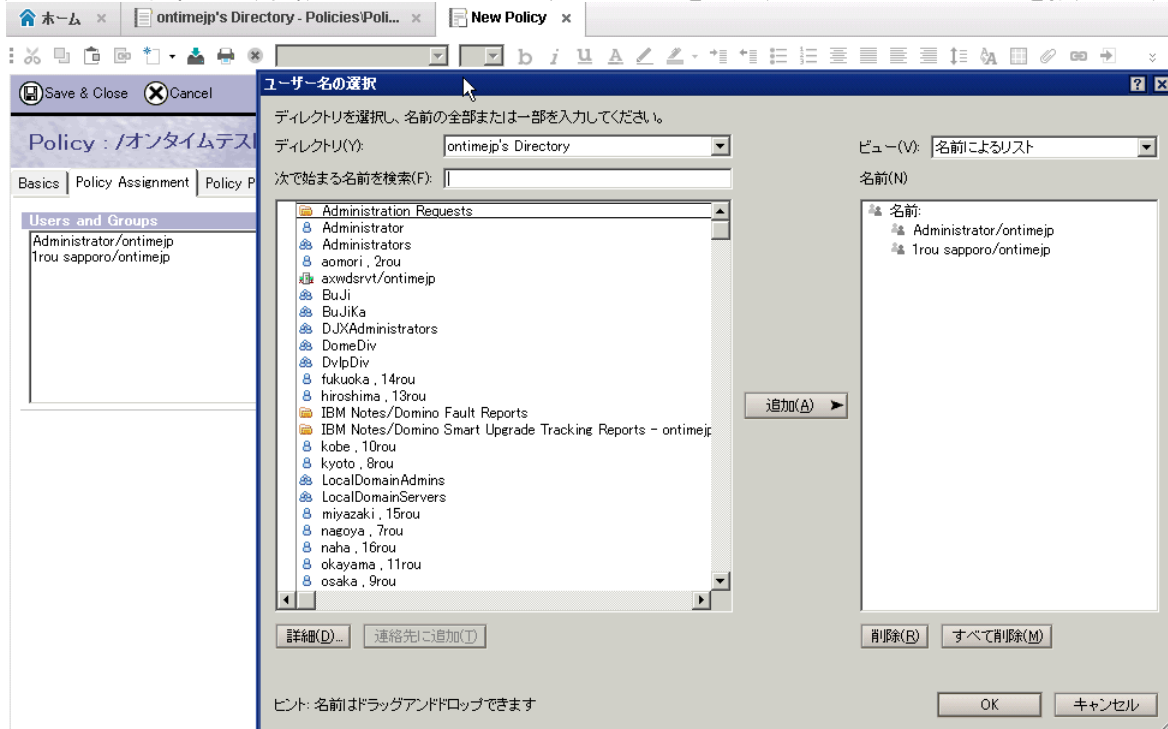
下図のようにウィジェットカタログに関連する上から3つの項目を設定します。  
その他の項目も適宜設定します。



ポリシー設定が完了すれば、デスクトップポリシーに先ほど作成したポリシー設定を選択します。



組織のニーズに合わせて、組織ポリシーか下図のようにポリシーを適用するユーザー・グループを指定します。

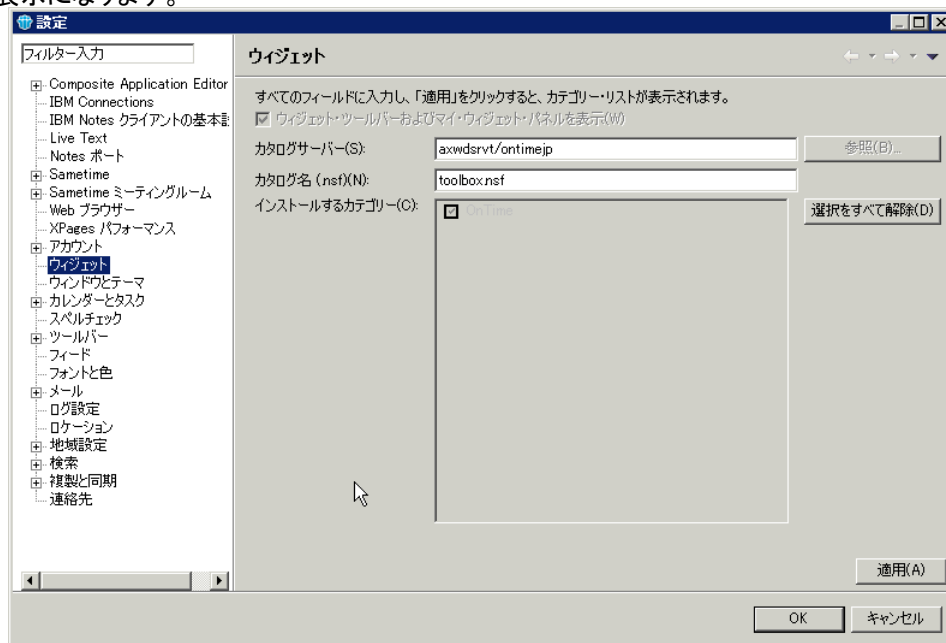


以上でポリシー設定は完了です。

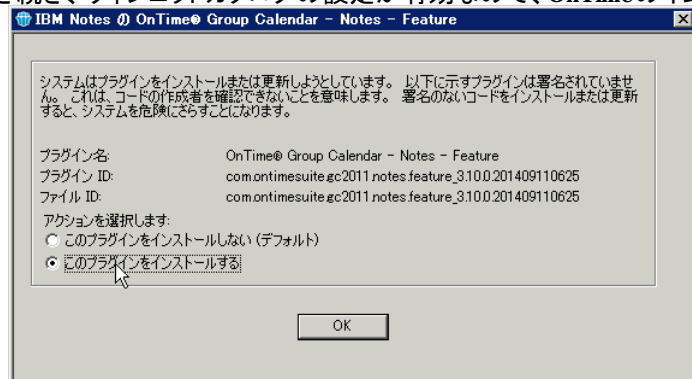
ポリシーはクライアント起動時や設定したインターバルに基づいて、適切なタイミングで配信されます。



ポリシーが適切に配信されると、今回のようにユーザーで変更できないようなポリシー設定であれば下図のような画面表示になります。



引き続き、ウィジェットカタログの設定が有効なので、OnTimeのインストールが始まります。

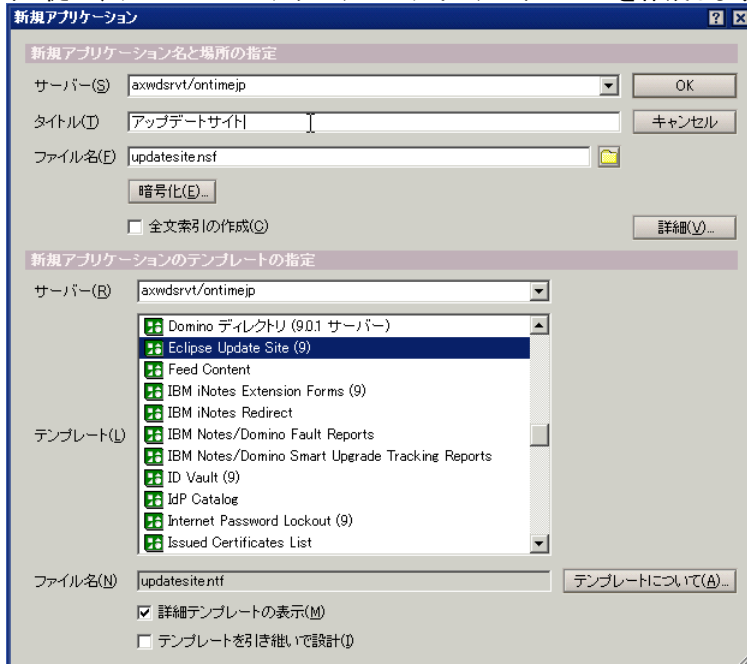


## 5.クライアントインストール - 3.アップデートサイト

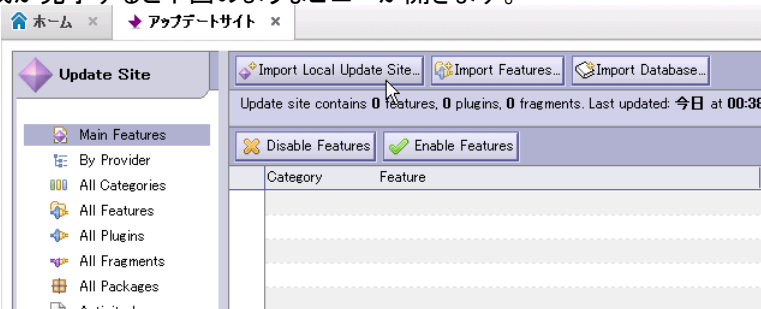
### アップデートサイトを社内に作成する。

今までのステップバイステップでは全てダウンロードサイトを外部のメーカーサイトになっていました。インターネット接続環境を一般ユーザーに開放していなかったり、大量なトラフィックをゲートウェイに流したくない場合はダウンロード先となるアップデートサイトをドミノサーバー上に作成することが出来ます。

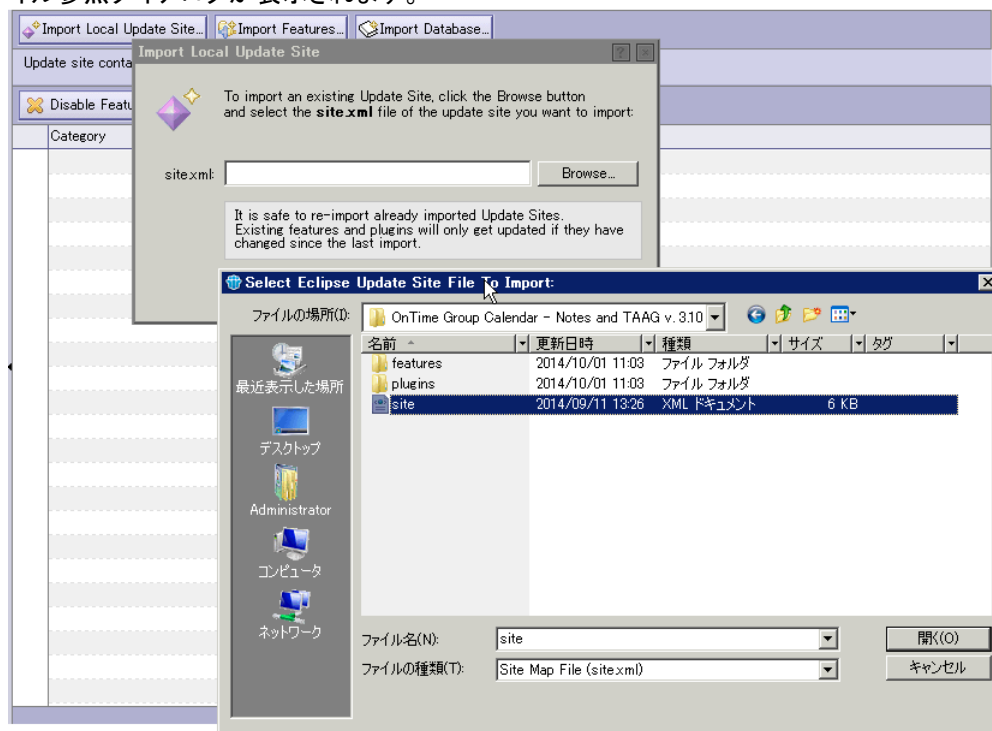
早速アップデートサイトを作成します。  
下図に従い、サーバー上にアップデートサイトデータベースを作成します。



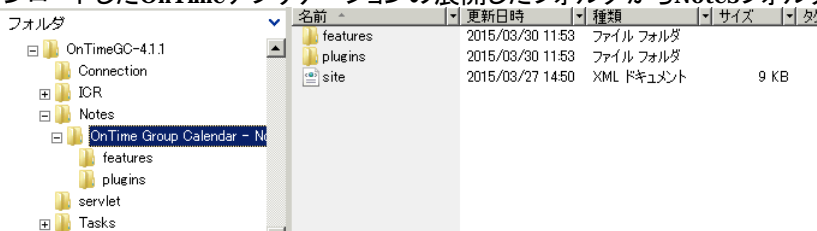
作成が完了すると下図のようなビューが開きます。



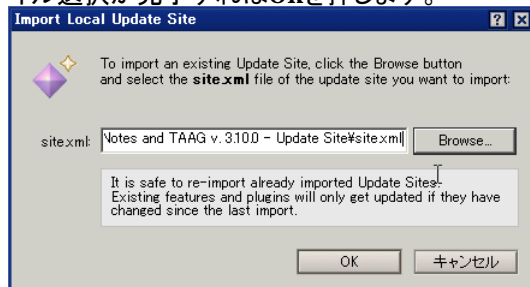
次にOnTimeのインストールプログラムを登録します。アクションから「Import Local Update Site」をクリックします。ファイル参照ダイアログが表示されます。



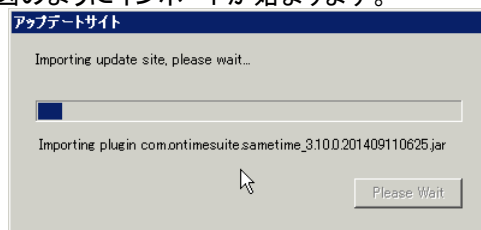
ダウンロードしたOnTimeアプリケーションの展開したフォルダからNotesフォルダのsite.xmlを選択します。



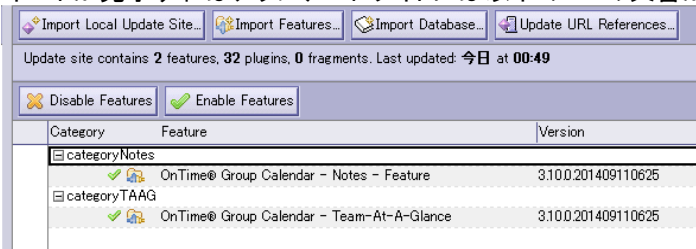
ファイル選択が完了すればOKを押します。



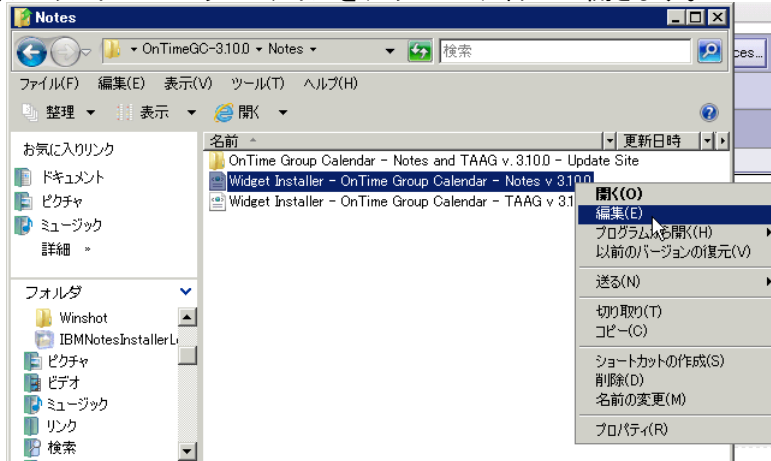
下図のようにインポートが始まります。



インポートが完了すればアップデートサイトには以下の2つの文書が作成されます。



次に、ウィジェットカタログのウィジェット用のextension.xmlを修正し、OnTimeインストーラーが組織内のアップデートサイトを参照するようにします。ウィジェットインストーラーファイルをテキストエディターで開きます。



すると下図のようなXMLファイルが開きます。

```
<?xml version="1.0" encoding="ASCII"?>
<webcontextConfiguration version="1.1">
  <palletItem
    id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature"
    imageUrl=
    providerId="com.ibm.rcp.toolbox.prov.provider.ToolboxProvisioning"
    title="OnTime Group Calendar - Notes v. 3.10.0"
    url="http://axwdsrvt.axwnt.local/updatesite.nsf/site.xml"
  </palletItem>
  <preferences></preferences>
  <data>
    <installManifest>
      <![CDATA[
        <install>
          <installfeature id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature" name="OnTime Group Calendar" ver:
            <requirements>
              <feature id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature" version="3.10.0.201409110625"
                </requirements>
            </installfeature>
          </install>
        </installManifest>
      </data>
    </palletItem>
  </webcontextConfiguration>
```

今回修正するのは文字列反転の青箇所(更新)にアップデートサイトのURLが記述されている箇所です。自社の環境にそって修正します。本環境では以下のように修正します。

修正前 url="<http://download.intravision.dk/gc2011/3.10.0/updatesite.nsf/site.xml>"

修正後 url="<http://HOSTNAME/FOLDER/DATABASENAME.nsf/site.xml>"

今回は url="<http://axwdsrvt.axwnt.local/updatesite.nsf/site.xml>"

修正したらファイルを保存します。

次はウィジェットカタログへの登録です。  
すでにウィジェットカタログにウィジェットの登録をしている場合はその文書を開きます。  
そして既存のextension.xmlを「削除」ボタンから削除して再度「添付」ボタンから登録します。

ホーム × ウィジェットカタログ - By Category × OnTime Client ×

保存して閉じる

**OnTime Client**

タイトル:

送信者: Administrator

カテゴリ: 『OnTime』

プラットフォーム: 『IBM Lotus Notes 8.5, IBM Lotus Notes 8.5.1, IBM Lotus Notes 8.5.2, IBM Lotus Notes 8.5.3』

コンテンツタイプ  コンポーネント

認識機能  プラグインとフィーチャ

▼ 説明

このウィジェットの簡単な説明を入力してください。ここで入力した説明は各種ビューなどで表示されるため、1～2行

OnTime Client

▼ 添付ファイル

[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルのファイルシステムから選択します。現在添付されているファイル

extension.xml

ファイル: - extension.xml

[▶ 添付ファイルの情報](#)

以後、インストールは内部のアップデートサイトからダウンロードされて行われます。



## 6.クライアントアップデート

## クライアントのアップデートについて

OnTimeGC Webデータベースを使用するOnTimeブラウザクライアント、OnTimeモバイルカレンダーはそのままご利用いただけます。

OnTimeGC APIデータベースを使用していたOnTimeノートクライアント、OnTimeサイドバークライアントもそのままご利用いただけます。  
但し、ハイブリッドプロトコルなど新機能をご利用頂く為にはバージョンアップして頂く必要があります。

### アップデートについて

ファイルからマイウィジェットへインストールしている場合は、そのまま上書きでドラッグしてください。

ウィジェットカタログからご利用の場合は、既存のウィジェットカタログ文書に添付しているインストーラーxmlを入れ替えてください。  
ノートクライアントのプリファレンス(設定)でインストールするカテゴリに指定されている場合は、次回のウィジェットカタログの更新時に自動でアップデート作業が始まります。

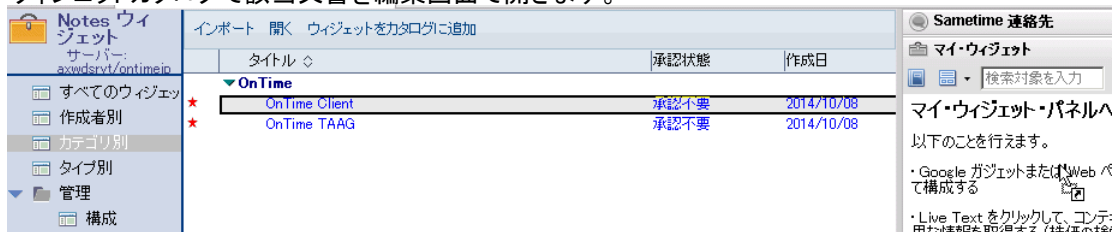
ウィジェットカタログ、アップデートサイトについての詳細は、IBMサイトもしくはOnTimeインストールステップバイステップガイドのクライアントインストールの章をご参照ください。

## 6.クライアントアップデート - 2.ノッククライアント・サイドバークライアント

### ウィジェットカタログのウィジェット内のextension.xmlファイルの入れ替え

アップデートサイトの呼び出しとユーザーへのフィーチャーのプロビジョニングに使用するウィジェットのextension.xmlファイルを最新バージョンに入れ替えます。  
アップデートサイトの呼び出し先を社内サイトに変更している場合は先にextension.xmlのurlを修正してください。

ウィジェットカタログで該当文書を編集画面で開きます。

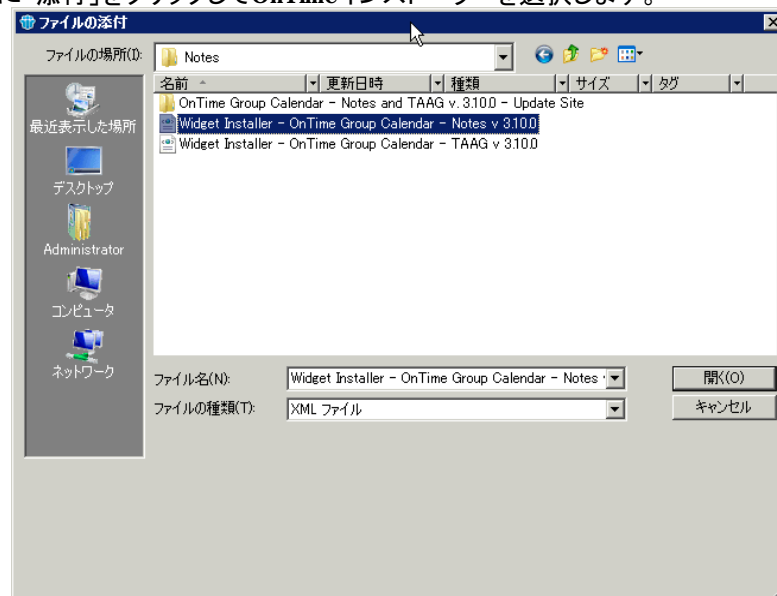


編集画面で開いた後、添付されているextension.xmlを「削除」ボタンで削除します。

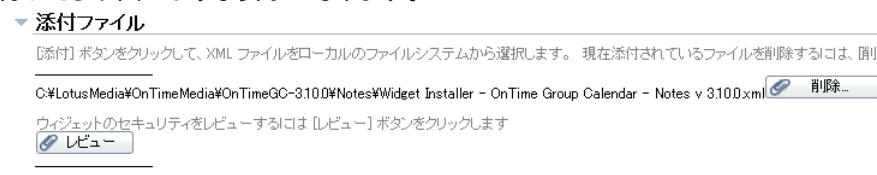


#### ▼ セキュリティ

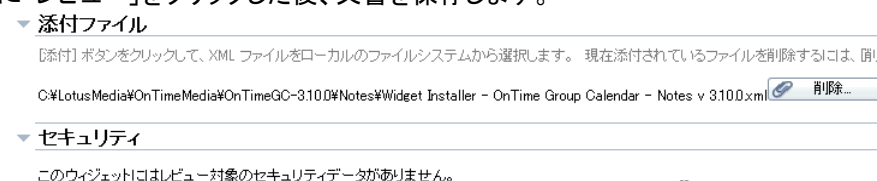
次に「添付」をクリックしてOnTimeインストーラーを選択します。



添付したら下図のような表示になります。



次に「レビュー」をクリックした後、文書を保存します。





同じく、サイドバークライアント(TAAG)用のウィジェットも作成します。

保存して閉じる

---

**便利なウィジェットを IBM Notes に追加**

タイトル:

送信者: Administrator

カテゴリ: OnTime

プラットフォーム: IBM Lotus Notes 85, IBM Lotus Notes 85.1, IBM Lotus Notes 85.2, IBM Lotus Notes 85.3, IBM Notes 9.0, IBM Notes 9.0.1

コンテンツタイプ     コンポーネント

認識機能     プラグインとフィーチャ

---

**説明**

このウィジェットの簡単な説明を入力してください。ここで入力した説明は各種ビューなどで表示されるため、1～2行程度で簡潔に入力してください。

OnTime TAAG

---

**添付ファイル**

[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルのファイルシステムから選択します。現在添付されているファイルを削除するには、[削除] ボタンをクリックします

C:\LotusMedia\OnTimeMedia\OnTimeGC-3.10.0\Notes\Widget Installer - OnTime Group Calendar - TAAG v 3.10.0.xml

---

**セキュリティ**

このウィジェットはモバイルビュー対象のセキュリティデータがありません。

両方とも編集完了すれば作業は終了です。  
そのままビューから該当文書をマイ・ウィジェットにドラッグしてインストールを始めます。

The screenshot shows the 'Notes ウィジェット' (Notes Widgets) catalog on the left, listing various widget categories like 'すべてのウィジェット', '作成者別', 'カテゴリ別', 'タイプ別', and '管理'. The main area displays a table of widgets:

インポート	開く	ウィジェットをカタログに追加	タイトル	承認状態	作成日
▼ OnTime					
			OnTime Client	承認不要	2014/10/08
			OnTime TAAG	承認不要	2014/10/08

On the right, the 'Sametime 連絡先' (Sametime Contacts) panel is visible, showing 'マイ・ウィジェット' (My Widgets) and a search bar. Below it, the 'マイ・ウィジェット・パネルへ' (To My Widgets Panel) section provides instructions on how to use widgets, such as 'Google ガジェットまたはWeb ページで構成する' (Compose with Google Gadget or Web page) and 'Live Text をクリックして、コンテンツ情報を取得する (検索欄の検索)' (Click Live Text to get content information (search in search bar)).

以降はファイルからのドラッグと同じ操作となります。

## 6.クライアントアップデート - 3.アップデートサイト

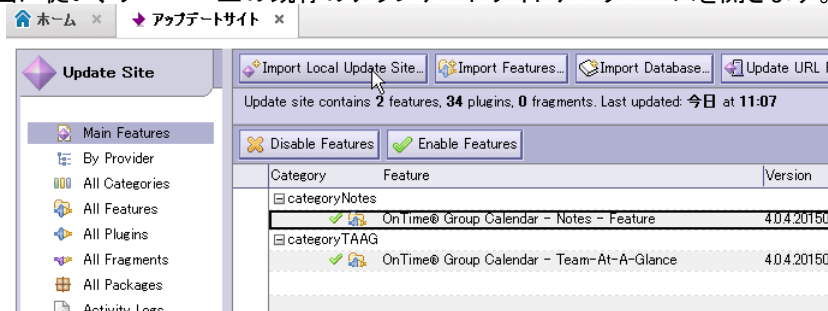
### アップデートサイト内のOnTimeフューチャーを更新する。

社内にアップデートサイトを構築して運用している場合は本ページも参考の上、クライアントインストール環境の更新も行ってください。

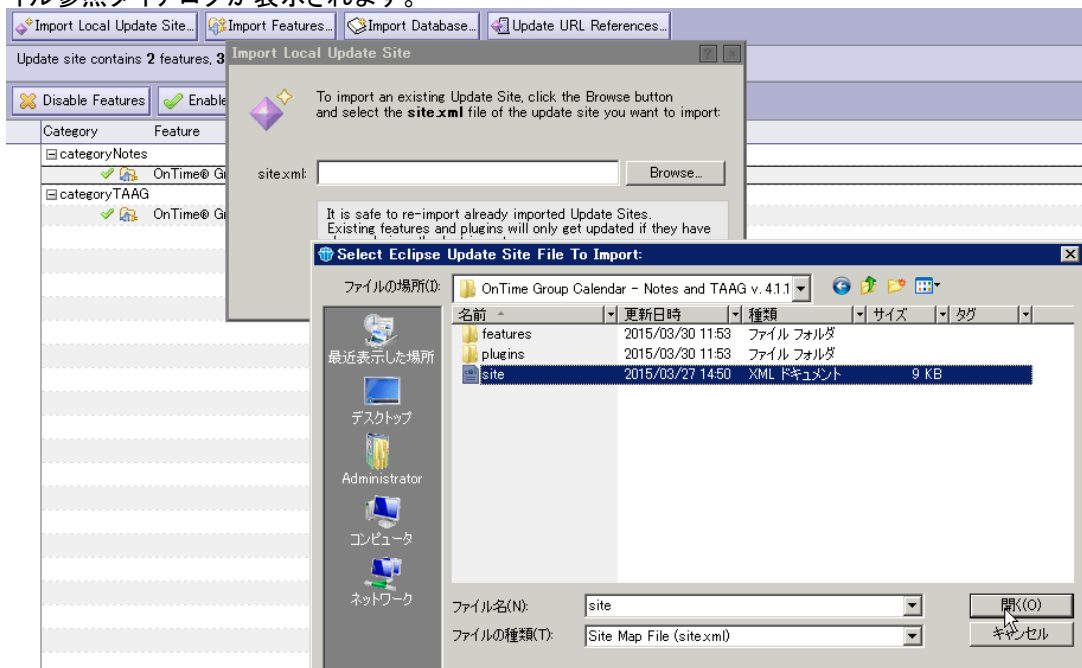
Dominoのアップデートサイトは同じフィーチャーに対してバージョン管理をしてくれます。

よってOnTimeのようにウィジェットインストーラー内のマニフェストが正しく記述されている場合は既存のアップデートサイトをそのまま利用して行えます。

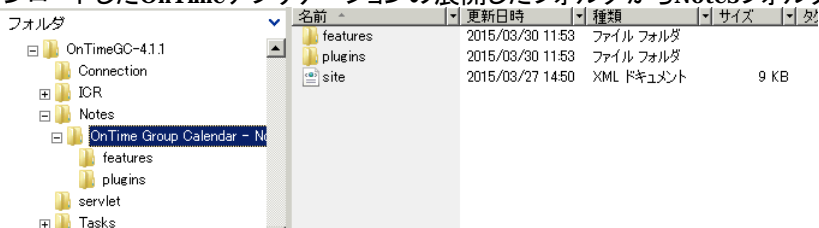
下図に従い、サーバー上の既存のアップデートサイトデータベースを開きます。



次に最新版のOnTimeのフィーチャープログラムを登録します。  
上図のようにアクションから「Import Local Update Site」をクリックします。  
ファイル参照ダイアログが表示されます。



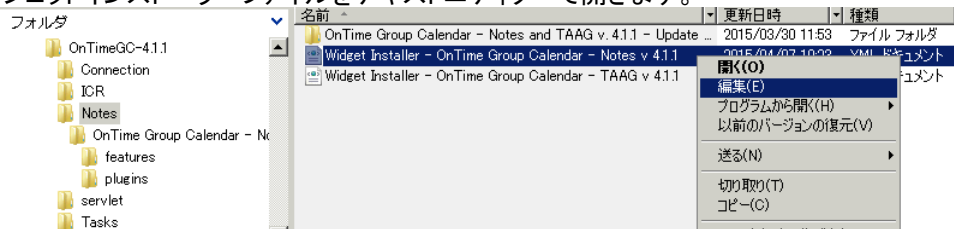
ダウンロードしたOnTimeアプリケーションの展開したフォルダからNotesフォルダのsite.xmlを選択します。



インポートが完了すればアップデートサイトには下図のように新しいフィーチャーが追加されています。

Category	Feature	Version
categoryNotes		
	OnTime® Group Calendar - Notes - Feature	4.1.1.201503271200
	OnTime® Group Calendar - Notes - Feature	4.0.4.201502111625
categoryTAAG		
	OnTime® Group Calendar - Team-At-A-Glance	4.1.1.201503271200
	OnTime® Group Calendar - Team-At-A-Glance	4.0.4.201502111625

次に、ウィジェットカタログのウィジェットを修正し、**OnTime**インストーラーが組織内のアップデートサイトを参照するようにします。  
ウィジェットインストーラーファイルをテキストエディターで開きます。



すると下図のようなXMLファイルが開きます。  
ちなみに赤枠部分がマニフェスト内のフィーチャーの記述となります。

```
<?xml version="1.0" encoding="ASCII"?>
<webcontextConfiguration version="1.1">
  <paletteItem
    id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature"
    imageUrl=
    providerId="com.ibm.rcp.toolbox.prov.provider.ToolboxProvisioning"
    title="OnTime Group Calendar - Notes v. 4.1.1"
    url="http://axwdsrvt.axwnt.local/updatesite.nsf/site.xml">
    <preferences></preferences>
    <data>
      <installManifest>
        <![CDATA[
          <install>
            <installfeature id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature" name="OnTime Group Calendar" version="4.1.1.201503271200">
              <requirements>
                <feature id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature" version="4.1.1.201503271200" match="perfect" />
              </requirements>
            </installfeature>
          </install>
        ]]>
      </installManifest>
    </data>
  </paletteItem>
</webcontextConfiguration>
```

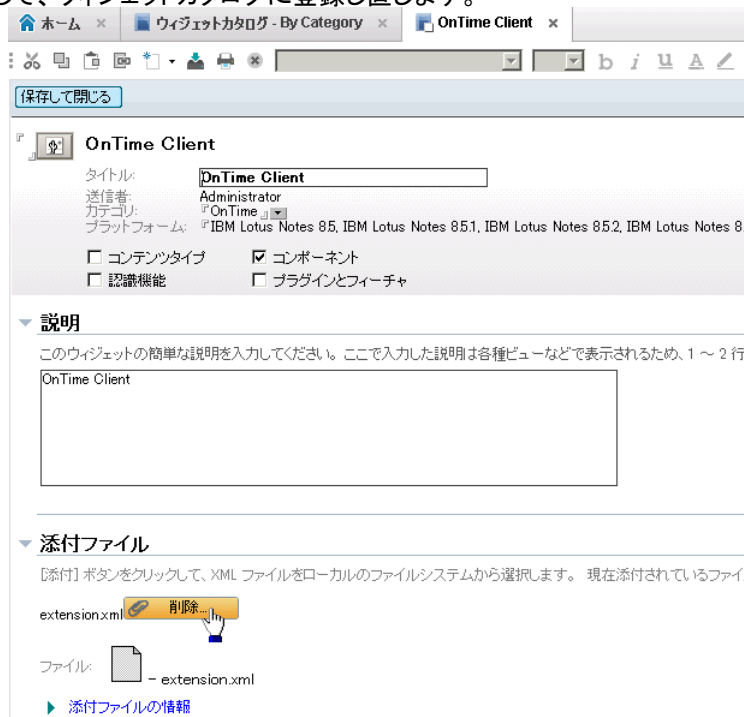
今回修正するのは文字列反転の青箇所へアップデートサイトのURLが記述されている箇所です。  
自社の環境にそって修正します。本環境では以下のように修正します。

修正前 url="http://download.intravision.dk/gc2011/4.1.1/updatesite.nsf/site.xml"

修正後 url="http://HOSTNAME/FOLDER/DATABASENAME.nsf/site.xml"

今回は url="http://axwdsrvt.axwnt.local/updatesite.nsf/site.xml"

修正したらファイルを保存します。  
そして、ウィジェットカタログに登録し直します。



保存して開じる

**OnTime Client**

タイトル: OnTime Client  
送信者: Administrator  
カテゴリ: OnTime  
プラットフォーム: IBM Lotus Notes 8.5, IBM Lotus Notes 8.5.1, IBM Lotus Notes 8.5.2, IBM Lotus Notes 8.5.3

コンテンツタイプ  コンポーネント  
 認識機能  プラグインとフィーチャ

**説明**

このウィジェットの簡単な説明を入力してください。ここで入力した説明は各種ビューなどで表示されるため、1～2行

OnTime Client

**添付ファイル**

[添付] ボタンをクリックして、XML ファイルをローカルファイルシステムから選択します。現在添付されているファイル

extension.xml

ファイル: extension.xml

[添付ファイルの情報](#)

以後、インストールは内部のアップデートサイトからダウンロードされて行われます。

ちなみに、クライアントでOnTimeのフューチャーをノーツの「プリファレンス/ウィジェット/インストールするカテゴリ」に設定していれば、次回のウィジェットカタログの更新確認時にバージョンアップを認識し自動で差し替えインストールが行われます。